

第69回 東北公衆衛生学会 プログラム

- 1 日時 令和2年7月17日(金) 9:25~16:30
- 2 会場 アピオあおもり
〒030-0822 青森県青森市中央3丁目17-1
- 3 学会長 井原 一成(弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授)
- 4 賛助 青森県医師会、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県看護協会
青森県国民健康保険団体連合会、青森県総合健診センター
- 5 参加費 一般 2,000円(特別講演、ワークショップのみ参加の場合は無料)
学生 無料
- 6 日程

	9:00	9:25	9:30	10:25	10:35	11:08	11:52	13:00	14:00	14:10	15:05	15:20	16:30
受付		受付											
2階 イベントホール		あいさつ 学会長	一般口演 A1-①~⑤	一般口演 A2-①~③	一般口演 A3-①~④	(昼休み)	特別講演1		一般口演 A4-①~⑤		特別講演2		
2階 大研修室2									ワークショップ				
										14:10	15:10		

- ※ 本学会は、日本公衆衛生学会認定専門家認定制度「地方公衆衛生学会」に認定されています。
- ※ 本学会は、一般社団法人社会医学系専門医協会が運営する社会医学系専門医・指導医資格更新のためのK単位4単位が取得可能です。

特別講演1「住民主体の健康なまちづくりとアクションリサーチ」

講師：芳賀 博 氏 (佐久大学看護学部客員教授)

特別講演2「青森県短命県返上の活動と弘前大学COI」

講師：中路 重之 氏 (弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授)

ワークショップ「事例検討のすすめ ～ 公衆衛生における観察と記述 ～」

講師：小島 光洋 氏 (弘前大学大学院医学研究科社会医学講座非常勤講師)

【午前の部】

一般口演（2階 イベントホール）

- A1 9:30~10:25 座長：弘前大学大学院医学研究科准教授 神田晃
- A1-① ヘルスリテラシーの向上に資する教育方法の創意工夫に関する考察
～健康教育T Y A方式の再構築の観点から～
浅田豊 青森県立保健大学
- A1-② 大学生のオーラルヘルスリテラシーと口腔状況および歯科保健行動に関する予備的研究
伊藤瑠美 青森県立保健大学大学院健康科学研究科保健・医療・福祉政策システム
- A1-③ 県内飲食店で提供されているしょうゆベースの麺類のスープ（汁）の食塩相当量の傾向
芳賀智恵子 青森県下北地域県民局地域健康福祉部保健総室（むつ保健所）
- A1-④ 食育ネットワーク構築に向けた食育体験事業の取組
遠藤美咲 福島県相双保健福祉事務所
- A1-⑤ 乳児期におけるSNSを活用した食育に関する情報発信の検討
向井庸平 青森県東北町役場保健衛生課

A2 10:35~11:08 座長：弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授 井原一成

- A2-① 福島県の発達障がい者を対象とした社会生活における満足度の調査
吉田知克 福島県立医科大学医学部疫学講座
- A2-② 秋田県ひきこもり相談支援センターの継続相談についての一考察
小松広美 秋田県精神保健福祉センター
- A2-③ C R A F T（家族支援プログラム）を活用したアルコール家族教室の取り組みについて
山田秀彦 福島県相双保健福祉事務所

A3 11:08~11:52 座長：福島県立医科大学医学部疫学講座教授 大平哲也

- A3-① 保健所職員の災害対応能力向上を目指した取組みについて
相馬一斗 青森県西北地域県民局地域健康福祉部保健総室（五所川原保健所）
- A3-② 青森県内で検出されたバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）のバンコマイシン耐性型とPFGE分析（2018年）
高橋洋平 青森県環境保健センター微生物部
- A3-③ 2019/20シーズンのインフルエンザウイルス検出状況
福田理 青森県環境保健センター微生物部
- A3-④ がん検診制度はがんによる死亡率を減少させているか
カ石國男 秋田看護福祉大学

【午後の部】

特別講演1（2階 イベントホール）

13:00~14:00 座長：弘前大学大学院医学研究科社会医学講座教授 井原一成

「住民主体の健康なまちづくりとアクションリサーチ」

講師：芳賀博氏（佐久大学看護学部客員教授）

一般口演（2階 イベントホール）

A4 14:10~15:05 座長：岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座講師 田鎖愛理

- A4-① 青森県三八地域における事業所の健康づくり支援体制構築に向けて（第一報）
葛原彩 青森県三八地域県民局地域健康福祉部保健総室（三戸地方保健所）

- A4-② 青森県との連携によるコラボヘルス事業の効果検証
松浦正也 全国健康保険協会青森支部
- A4-③ 東日本大震災後5年間におけるメタボリックシンドローム発症に及ぼす避難の影響
(3地域比較)
岡崎可奈子 福島県立医科大学新医療系学部設置準備室
- A4-④ 健康増進法完全施行に向けた各種事業場における受動喫煙対策への取り組み
田鎖愛理 岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座
- A4-⑤ 定期的なフッ化物歯面塗布によるう蝕予防効果について
館田有佳子 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課
-

ワークショップ (2階 大研修室2)

14:10~15:10

「事例検討のすすめ ~ 公衆衛生における観察と記述 ~ 」

講師：小島 光洋 氏 (弘前大学大学院医学研究科社会医学講座非常勤講師)

特別講演2 (2階 イベントホール)

15:20~16:30 座長：弘前大学大学院医学研究科准教授 神田晃

「青森県短命県返上の活動と弘前大学COI」

講師：中路 重之 氏 (弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授)

【参加者への御案内】

- 1 当日、会場受付において、参加費(学会講演集代)を受領いたします。学会講演集は、その際にお渡します。(特別講演、ワークショップのみ参加の場合を除く。)
- 2 会場では、参加証(名札)を着用してください。
- 3 当日、会場では昼食の販売は行いません。なお、昼休みに会場内の特定の場所で弁当などの食事をとることは可能ですが、ごみは必ずお持ち帰りください。
(イベントホールでの飲食はできません。)
- 4 社会医学系専門医協会専門医・指導医の更新のための単位取得の証明が必要な方は、会場受付においてお知らせください。受講票を発行いたします。

【発表者への御案内】

- 1 当日、発表30分前までに発表者受付を済ませ、10分前には次演者席にお着きください。
- 2 発表時間は1題につき発表8分、質疑応答3分の計11分です。
発表開始後7分目に1鈴、8分目に2鈴、11分目に3鈴(終了)を鳴らします。

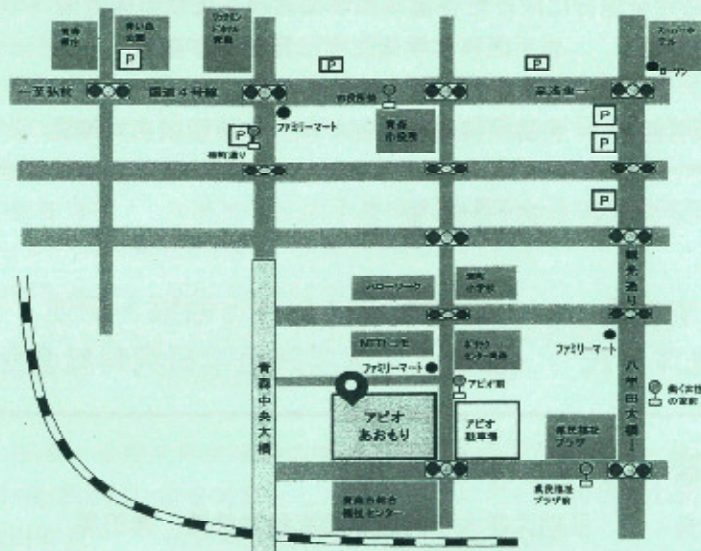
【新型コロナウイルス感染症への対応について】

- 1 以下の方は参加を御遠慮ください。
 - ・ 当日より遡って7日以内に37.5度以上の発熱があった方
 - ・ 当日に37.5度以上の発熱または、次の症状がある方
※頭痛、倦怠感、鼻汁、咽頭痛、咳、息苦しさ、味覚障害、嗅覚障害、下痢、吐き気
 - ・ 妊婦、高齢者及び基礎疾患をお持ちの方で、感染リスクを心配される方
- 2 学会当日の注意点
 - ・ マスクの着用をお願いいたします。
 - ・ 咳エチケットや手洗いをしっかり行う等、適切な感染症対策をお願いします。
 - ・ 公共交通機関を御利用の際も、マスクの着用をお願いいたします。
 - ・ 会場に入る前には、手洗い・手指消毒をお願いいたします。

【会場案内】

アピオあおもり 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目17-1 (電話: 017-732-1010)

(会場略図)



【交通】

バス

○青森駅前 4番のりば(青森市営バス)から約15分

【乗車】K観光通り線

(K30モヤヒルズ行 / K31青森公立大学行 / K32幸畑団地(横内環状)行 / K33学校教育センター行 / K34市民病院行 / K35イトーヨーカドー(浜田循環)行 / K37問屋町行 / K38流通団地・南部工業団地行 / K43青森朝日放送行)

【下車】「働く女性の家前」から徒歩約3分

○青森駅前 2、3番のりば(青森市営バス)から約10分

【乗車】C造道・八重田線 E東バイパス線 F小柳線(岡造道経由)

G明の星通り線 H松森・浜館線 J中筒井線 F小柳線(桜川経由)

【下車】「市役所前」から徒歩約8分

○青森空港 4番のりば(JRバス)から約30分

【乗車】青森駅行き

【下車】「柳町通り」から徒歩約10分

ほか

タクシー

○青森駅(奥羽本線、青い森鉄道線ほか)から約2.5km、約10分

○新青森駅(東北新幹線ほか)から約6.5km、約20分

○青森空港から約12.8km、約30分

駐車場

○駐車スペースが少ないので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

(演題関係) 弘前大学大学院医学研究科社会医学講座

〒036-8562 青森県弘前市大字在府町5番地

TEL: 0172-39-5041 FAX: 0172-39-5038

E-mail: soc-med@hirosaki-u.ac.jp

(庶務関係) 青森県健康福祉部健康福祉政策課企画政策グループ

〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1-1

TEL: 017-734-9277 FAX: 017-734-8085